

## ■ 質問

「ASDRA」の機能、全体フローを、教えてください。

## ■ 回答

「ASDRA」の機能(下図参照)、全体フロー(次頁参照)を 下記に示します。

「ASDRA」 機能一覧表

項 目	機 能 内 容		
作図対象	鉄筋コンクリート造(RC造) 鉄骨造(S造)		
対象図面	RC造・S造共通: 伏図(杭伏図、 <input type="checkbox"/> 基礎伏図、 <input type="checkbox"/> 一般階伏図、 <input type="checkbox"/> R階伏図) <input type="checkbox"/> 軸組図 部材リスト(杭、基礎盤、耐圧版、 <input type="checkbox"/> 基礎梁、 <input type="checkbox"/> 基礎小梁、 <input type="checkbox"/> 柱、 <input type="checkbox"/> 大梁、 <input type="checkbox"/> 小梁、 <input type="checkbox"/> 壁、 <input type="checkbox"/> 床版) 部分詳細図(階段、パラペット) (注) <input type="checkbox"/> 内は新発売製品の作成可能な図面です。 RC造: 芯線図 S造: 部材リスト(礎柱、ブレース)		
共通設定	用紙サイズ, 各図縮尺, 図面形式(リスト), 文字サイズ, 鉄筋記号等の選択設定が可能です ※ 出力図面(DXF形式)はAutoCAD用またはJW_CAD用から選択設定が可能です。		
図面配置設定	出力図面, 図面配置, 図面番号, 縮尺, 図面名, 個別図面名等の設定を一つの画面で操作することが可能です。		
共通事項の表示	各伏図・軸組図・各部材リストに対して、共通事項の設定・表示が可能です		
躯体レベルの表示が可能	伏図: レベル範囲を示す斜線表示 レベル値を示す共通事項の表示 軸組図: フロアラインからのレベル値を表示 共通事項の表示		
作図条件の保存	作図条件の設定内容は、変更しない限り保存されます 図面出力の都度、作図条件の設定をする必要はありません		
「ASCAL」 との連動	<ul style="list-style-type: none"> <li>一貫構造計算データが、そのまま作図データとなります</li> <li>計算結果を即図面化することが可能です</li> <li>計算結果と構造図の食い違いの防止が可能です</li> <li>設計者から図面作成者への指示データとして採用可能です</li> </ul>		
構造設計各段階に 応じた活用法	構造設計初期	構造設計中期	構造設計終期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>図面を出力し確認することにより、一貫構造計算プログラムデータのチェックが可能。</li> <li>基本設計時等に説明資料として、活用可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>途中段階の図面を出力し、施主または意匠設計事務所に提示も可能。</li> <li>※ この段階で大半の作図条件を設定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>納期直前の計算調整に伴うASCALデータを変更に対しての、図面訂正漏れ防止が可能。</li> </ul>
他社一貫構造計算 データとの連動	他社一貫構造計算データを読み込み、図面作成が可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>SS3</li> <li>BUS</li> <li>STbridge</li> </ul>		

※ 機能整備 (Version. up) 概要

- 内は新発売製品の作成可能な図面です。
- 順次、杭伏図・部材リスト・各種共通事項・芯線図・部分詳細図を追加整備していきます
- 整備期限は今年中を目標とします

[全体フロー]

